

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第35号

平成30年 3月12日発行
須賀川市立第二中学校
☎75-2910
発行責任者：校長 高崎則行

式歌の歌い出しに期待してください そこに心のつながりの深淺が表れる

今回で70回目を迎える卒業証書授与式が、いよいよ明日になりました。3月6日(火)には、予行



演習を行い、式の流れや礼法などの最終確認をしました。

その後で、式歌の練習を行いました。今年の式歌は、「明日の空へ」「友～旅立ちの時～」「旅立ちの日に」の3曲です。

練習後、音楽科主任の上澤教諭からの指導がとても心打たれるものだったので、概要を紹介したいと思います。

「まず、式のはじめに歌う『国歌』、そして卒業証書授与や祝辞などがあって1時間以上も間が開いて歌う『明日の空へ』

など、その出来映えを決めるのは最初の一小節です。この一小節でしっかり声が出せるかが勝負です。

そのポイントは『信頼』ですよ。周りの人がしっかり声を出してくれるだろうかと疑いの気持ちで歌い出すのではなく、みんなもしっかり声を出してくれるはずと信頼して声を出すのです。最初の一小節からしっかりと声を出すことができれば、あとは『歌声の二中』の本領発揮。皆さんの実力が存分に発揮できるでしょう。音の重なりや響き合い、メロディに乗せた言葉の輝きが、式場にいる全員の心に届くことでしょう。」



校長講話にも勝る上澤教諭の思いのこもったメッセージが、生徒一人一人に染み渡ったような気がしました。卒業生の保護者の皆さん、明日の卒業式では式歌の歌い出しに注意して耳を傾けてみてください。皆さんが納得できるような出来映えであったとすれば、それは卒業生・在校生が互いに信頼でつながったあかしです。私が経験した卒業式の中で、明日の卒業式が最高傑作になることでしょう。

柳沼さん、日本北リジョン賞に輝く



「ソロプチミスト」とは、女性にとって最良のものという意味で、女性の人権と地位を高める奉仕活動を行っている「国際ソロプチミスト」という組織があります。

このたび、この組織が募集したアートコンテストに応募した2年8組の柳沼亜樹さんの作品が、「日本北リジョン賞」に輝き、3月6日(火)に須賀川支会の有馬美代会長さんらにおいていただき、校長室で賞状や記念品を伝達していただきました。柳沼さんは、美術部に所属しており、

その席上で将来は漫画家になりたいという夢を語ってくれました。私も小学校から中学校にかけて漫画家になりたいと考えていた時期があったものですから、夢を大切に育ててほしいと思いました。また、今回の受賞を機に、国際ソロプチミストの活動に関心を持ってほしいなあと考えながら、しばし歓談を楽しみました。

27名が皆勤賞

3年間欠席がなかった生徒に贈られる「皆勤賞」を、3月6日（火）の卒業式予行演習の場で伝達しました。受賞したのは、次の27名です。



安藤 達也①	志田 玲希①
名越 美帆①	並木 卓士①
柏原 梨花②	佐藤 郁樹②
西間木彩乃②	吉田 夏鈴②
岡部 燿虹③	佐藤ちひろ③
内藤 颯③	小林 愛④
小森 大樹④	佐藤 佳奈④
高橋 紀翔④	新田 奈々④

服部 龍太④	水野 大翼④
橋本 大輝⑤	奥山 泰冴⑥
金澤 玲奈⑥	野崎 聖奈⑥
山寺 胡桃⑥	飯塚 光琉⑦
岩崎 翔流⑦	渡邊 安耶⑦
和智 愛斗⑦	

4月6日（金）～4月15日（日）

春の全国交通安全運動 自転車利用、横断歩道周辺の行動に注意

「春の全国交通安全運動」が間近となりました。本校生徒について、こんな危険な行動が見られたというご指摘をいただいています。運動期間前であっても交通事故ゼロを目指しましょう。

1 自転車で並進して、車が近づいても脇によけ

ない。

2 交差点で、自転車のスピードを加減したり左右の確認をしたりしないで直進する。

3 横断歩道の間近にいて、車が停止したのにいつまでも動かない。

この3点には、相手に対する気配りや思いやりを欠いているという共通点があると思いませんか。危険であるばかりでなく、そ



う点でも残念です。保護者の皆さんの見守りで是非改善したいと思います。

なお、運動の重点は次の4点です。

- 1 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 2 自転車の安全利用の推進
- 3 すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用
- 4 飲酒運転の根絶

家族みんなでルールやマナーを守ることが、子どもの規範意識を育てる上で重要です。小さな子どもからお年寄りまで、家族ぐるみで、地域ぐるみで交通事故から命を守りましょう。

ひと味違うぞ！ 二中生



清掃終了の直後、一人の女性教員がこう教えてくれました。

「校長先生、体育館掃除がすごいことになっています。ギャラリーを清掃している3年生の〇〇くんと△△くんが……」

いい情報を得たぞと思い、わが目で見てみようと考えたのですが、翌日、翌々と卒業式練習が長引いて清掃が中止となり、実現したのは3日後でした。

清掃開始の音楽と同時に体育館に行ってみました。「後半の清掃に入ってください。」というアナウンスが終わるや否や、フロアのモップ掛けをしていた二人

の男子生徒が風のように速やかにステージ脇からギャラリーに上がっていきました。体力の衰えを感じながら梯子を昇って行くと、雑巾で鉄柵の隙間を丁寧に拭いています。手にしたレジ袋の中には、ハンディモップ、「激落ち」某というキューブ型のスポンジなどが入っていて、手にはめているゴム手袋なども家庭から持ってきたのだと言います。そういえば、床のタイルも大部分の黄ばみがぬぐわれているではありませんか。通常だれも目にする事のない場所なのに、こうまでしてきれいにしようとする気持ちがすごい。私は心打たれました。

清掃開始直後にはトイレは水を使って清掃するからでしょう一女子生徒がトレパンを脱いで半パン姿になって、表情を引き締めて再びトイレに入っていました。

こんなところにも今年の3年生の「有終の美」を見た思いです。



卒業式前の最後の学校だよりになります。最高の卒業式になるよう最善を尽くしたいと思います。